必要な人が必要な時に入所できるだけの
甲賀市に特別養護老人ホームの増設を求めます

甲賀市長　中嶋　武嗣　様

「安心して老後を過ごしたい」これはだれもの思いです。「介護の社会化」「家族の介護への負担の軽減と解放」をうたい文句として２０００年に介護保険制度がスタートして１２年がたちました。しかし、今日、要介護者は増加の一途をたどる一方で施設整備は大きく立ち遅れています。

特に、特別養護老人ホームの施設整備が遅れ、甲賀市では現在５か所の特別養護老人ホームがあるものの、その入所定員は２８４人で、４８６人（実数）もの方が入所待ちとなっています。今年（２０１２年）４月に水口に 100 床の特別養護老人ホームが開設され、さらに甲賀市の第５期介護保険事業計画では今年４月から３年間で１０５床増やす計画となっていますが、今後ますます入所希望者の増加が見込まれ、現在の待機者すら入所できない状況が予測されています。

このままでは、「入所したくても入所できない」「親の介護のために仕事を辞めなくてはならない」人々がさらに増えることになってしまいます。高齢者が高齢者を介護する「老老介護」や認知症の方が認知症の方を介護する「認認介護」など深刻な事態をより一層深刻にしてしまうことも十分予測されます。

こうした事態を回避し、「必要な人が必要な時に入所できる」だけの特別養護老人ホームの建設と増設がどうしても必要になっています。

つきましては、貴職がこのような多くの市民の願いにこたえ「だれでもが安心して老後を過ごせる」甲賀市としていくために尽力いただくよう下記のとおり要望します。

２０１２年４月

甲賀市に特別養護老人ホームの増設を実現する会
取り扱い団体

要望事項

必要な人が必要な時に入所できるだけの特別養護老人ホームを甲賀市内５か所に５００床以上増設してください。

氏　　名	住　　所